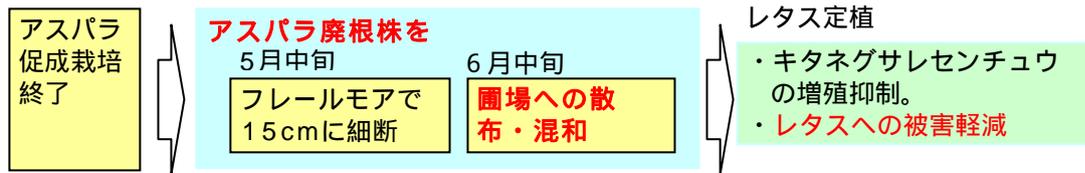


アスパラガス根株でレタスのキタネグサレセンチュウ被害軽減

【1 成果の概要】

キタネグサレセンチュウ被害の多いレタス圃場に、促成栽培終了後のアスパラガス廃根株を 15 cm 程度に細断して混和することでセンチュウの増殖が抑えられ、レタスへの被害を軽減させることができます。



増殖を抑える効果は混和翌年の前半まで期待できます。

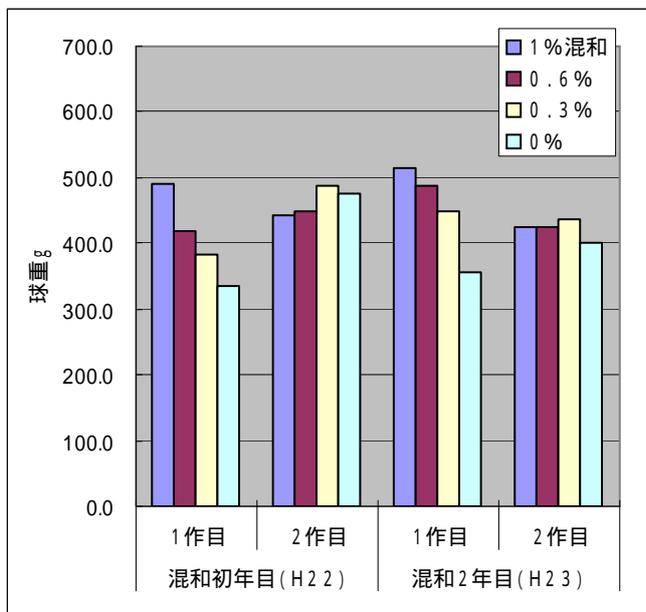


写真 混和前の様子：混和量 1% (廃株が 3~4 cm厚)

図 キタネグサレセンチュウ被害圃場におけるアスパラガス廃根株混和後 2 年間のレタス球重の推移

【2 留意事項】

アスパラガス廃根株は、5月中旬に細断して6月中旬に全面散布・混和しています。

廃根株を土に対して乾物重比で 0.3 ~ 1% (生鮮重約 3 ~ 11 kg/m²) 混和してセル苗 (200 穴) を定植した場合に初期生育への影響は推測されますが、収穫時のレタスの球重への影響は見られません。

アスパラガスは連作を嫌うので、廃根株を混ぜた圃場を次の年以降に、促成アスパラガスの株養成栽培に使うことは控えましょう。